



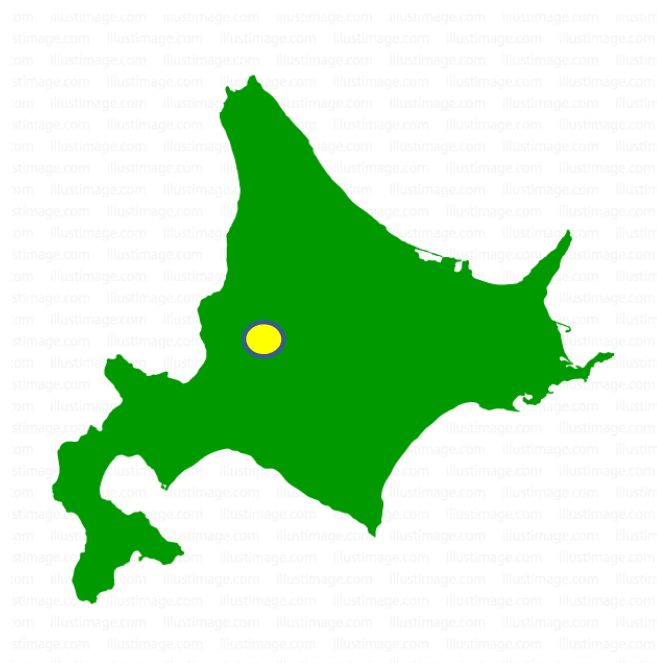
# 急募! 総合診療医

北海道 砂川市で  
日々の症例から総合診療を実感する

砂川市立病院 総合診療科

木村 眞司

shkimura@sapmed.ac.jp



## 砂川市立病院

- 498 床
- 中空知地方11万人をカバーする基幹病院
- 住民や周辺医療機関から頼られる病院
- 医師 105名
- 研修医 15 名 (1 年次8名、2 年次7 名)
- ほぼすべての診療科がそろっている
- 札幌から車で1 時間 1 0 分、列車なら4 7 分

**共に働く総合診療医を募集します!**

**総合診療科 副院長 木村眞司**

**募集要項・採用の申込**

## 総合診療科 副院長

### 木村眞司(きむら しんじ)プロフィール①

- 1989年 札幌医科大学医学部医学科卒業  
横須賀アメリカ海軍病院インターン
- 1990年 茅ヶ崎・大和徳洲会病院研修医
- 1991年 アメリカ・インディアナ州テレホート市  
ユニオン病院家庭医療科研修医
- 1994年 アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス市  
ミネソタ大学病院老人医療学研修医
- 1996年 茅ヶ崎徳洲会総合病院内科(一般内科・老人科)
- 2000年 札幌医科大学医学部地域医療総合医学講座  
(附属病院総合診療科) 助手
- 2005年 松前町立松前病院長

## 総合診療科 副院長

木村眞司(きむら しんじ)プロフィール②

2016年 市立美唄病院

2017年 札幌医科大学医療人育成センター  
教養教育研究部門 教授

2020年 砂川市立病院 総合診療科 副院長

2022年 砂川市立病院 教育研修センター長 (兼)

日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医

日本内科学会認定内科医・指導医

(アメリカ) 認定家庭医

(アメリカ) 認定老人科医

ミネソタ大学大学院修士、ミネソタ州医師免許証

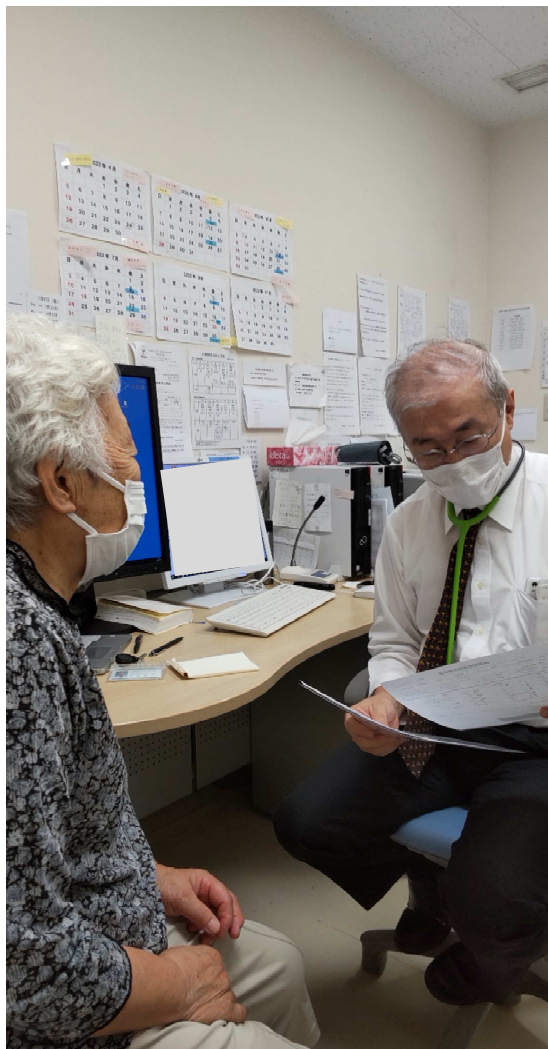
医学博士

日本専門医機構総合診療科指導医

# 外来・入院患者

中空知地域では、高齢化率が高いため、高齢者などの診療に関わる  
ことが多くなりますが、症例は多岐にわたります。

専攻医、研修医、医学生とともに診療いたします。











1. どんな患者を診る？

## New patients @ 総合診療科外来 @ 砂川市立病院 in June

1. 77歳女性 紹介患者 右下腹部痛 食欲あり。何を疑う？
2. 82歳女性 腹痛、食思不振、左下腹部の腫瘍。何を疑う？
3. 30歳女性 右側腹部痛。何を疑う？
4. 48歳女性 右胸痛。どんな病気を疑う？
5. 74歳女性 胸が二時間苦しかった。どんな病気を疑う？

## New patients (continued)

6. 33歳男性 両手足のしびれ。何を疑う？
7. 47歳女性 腹痛 下血。何を疑う？
8. 88歳女性 痰がからむ。何を疑う？
9. 62歳男性 浮腫。5月初旬から。何を疑う？

一方、5年半にわたり外来を続けている市立美唄病院では・・・

## @総合診療科外来@市立美唄病院（6月10日）

1. 昭28生女性      microscopic hematuriaのfollow-up
2. 昭11生女性      hypertensionなどのfollow-up
3. 昭17生女性      dyslipidemiaのfollow-up
4. 昭21生男性      asthma, malignant lymphoma f/u
5. 昭34生男性      hypertension、strokeのf/u
6. 昭12生女性      Alzheimer diseaseのf/u
7. 昭9生男性      hypertension, iron-deficiency anemiaのf/u    内視鏡を  
受けたがらない

8. 昭25生女性 hypertension
9. 昭12生男性 hypertension
10. 昭11生男性 hypertension, type 2 diabetes mellitus, chronic renal failure (Cre=4)
11. 昭8生女性 Parkinson disease
12. 昭6生男性 paroxysmal atrial fibrillation, hypertension
13. 昭13生女性 neurosis
14. 平16生女性 高校2年 being a bit sensitive about relationships



では、市立美唄病院の救急外来では・ ・

## @救急外来@市立美呗病院 (pre-Corona days)

1. 89 y.o. male fever
2. 25 y.o. male influenza
3. 89 y.o. male constipation
4. 44 y.o. male anaphylaxis (he was admitted)
5. 90 y.o. male bee sting, urticaria, stroke (left homonymous hemianopsia, conjugate gaze to the right)
6. 10 y.o. male fever
7. 13 y.o. male abdominal pain
8. 65 y.o. male peripheral vertigo

8. 30歳女性      impetigo →どうする？
9. 3歳女児      constipation →どうしますか？
10. 70代女性      fracture of the head of the humerus →どうする？
11. 71歳女性      acute coronary syndrome (ACS) どうする？
12. 81歳女性      bowel obstruction →どうする？
13. 88歳女性      renal cell cancer, dyspnea, right-sided heart failure

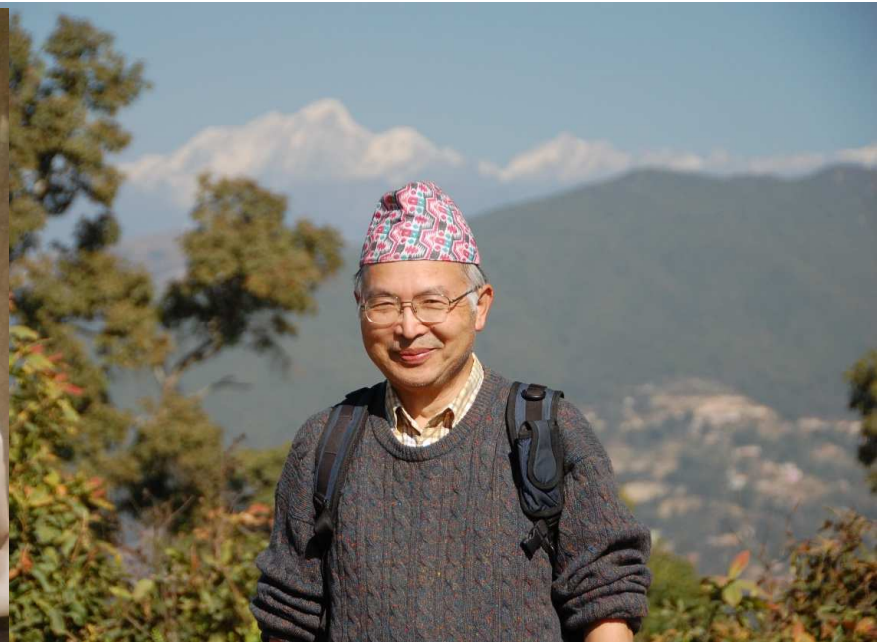
14. 1歳2ヶ月女児 発熱 ←予防接種
15. 86歳女性 浮腫 →浮腫を起こす薬の代表格は？
16. 87歳女性 めまい、嘔吐
17. 56歳女性 SAH（くも膜下出血）→降圧！ 砂川市立  
に転送
18. 31歳女性 蕁麻疹
19. 87歳女性 心窩部痛

2.どんな医療機関・職場・セッティングで働く？

## 国際協力に尽力する人たちも



曳田 彩子先生  
国境なき医師団(MSF)



櫛戸健次郎先生  
NGO CROSS

この本、とても面白い！



## 訪問診療の患者（6月16日）

- 73歳男性      肝細胞癌
- 78歳女性      食欲不振    慢性腎不全
- 73歳男性      MRSAによる硬膜外膿瘍後の対麻痺



## 現在の入院患者

1. 44歳女性 鉄欠乏性貧血 (Hb 3.1!!!) 、心不全、病的肥満、糖尿病、肝機能障害、等々
2. 82歳男性 進行胃癌 多発肝転移 貧血 (Hb 7)
3. 87歳女性 屈曲拘縮、褥瘡、低栄養状態
4. 97歳男性 骨髓異形成症候群、貧血 (Hb 5)

## Inpatients (continued)

5. 92歳男性 パーキンソン病疑い
6. 57歳女性 虚血性腸炎
7. 85歳女性 骨盤脆弱性骨折（恥骨・坐骨）
8. 82歳女性 肺癌、肋骨浸潤、認知症、尿路感染症

## Inpatients (continued)

- 9. 90歳女性 肺癌、肺内転移、肝転移、喘息
- 10. 70歳男性 腎盂腎炎→膀胱癌見つかる、Clostridioides腸炎等
- 11. 62歳男性 黄色ブドウ球菌(MSSA)菌血症、左眼内炎、髄膜炎、椎体炎、硬膜外膿瘍、
- 12. 93歳男性 排尿失神（状況失神）、脱水症

1. どんな患者を診る？
2. どんな医療機関・職場で働く？
3. **どんなコミュニティーで働く？**
4. どんな役割をする？

## 例えば私は

研修終了後働いた市町村（抜粋）

- 神奈川県茅ヶ崎市 20万人
- 米国Indiana州Terre Haute 6万人
- 米国Minnesota州Minneapolis 200万人
- 札幌市（大学） 182万人
- 松前町（病院） 1万人→6千人
- 美唄市（病院） 2万2千人
- 札幌市（大学） 195万人
- 砂川市（病院） 1万6千人(カバーするのは11万人!)

総合診療医は僻地で働く人？

都会では働かないの？ 不要なの？

遠隔地での役割  
地方の町での役割  
都市における役割

1. どんな患者を診る？
2. どんな医療機関・職場で働く？
3. どんなコミュニティで働く？
4. **どんな役割をする？**



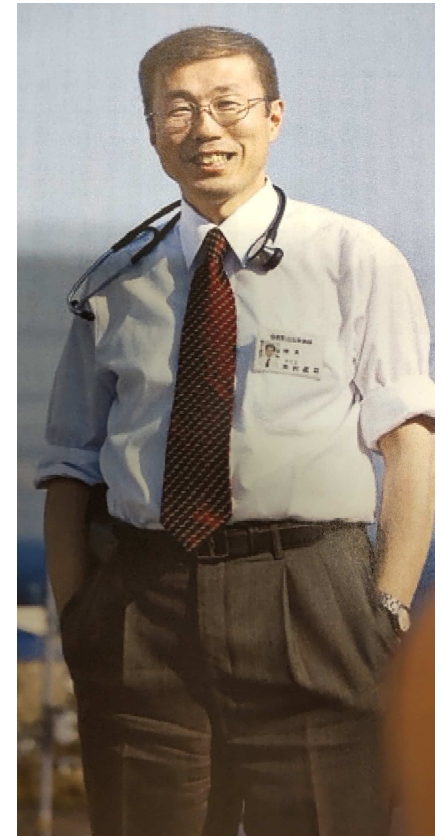
# Family medicine

- Personal doctor
- Whole-person care
- Comprehensiveness: people of all ages and health conditions
- First contact care
- Enduring partnership with patients
- Flexibility to meet the patients' needs

# 休日は北の大地で農作業もできます!



# 若かりし日



## 砂川に「総合診療医」

ー木村眞司副院長との出会いー  
教育研修センター 副センター長 森田康晴

2020年4月1日、木村眞司副院長が砂川市立病院に赴任されました。

私が木村先生とお会いしたのは、2010年の北海道プライマリケアネットワーク（にほぽ）の会議に当時の小熊豊院長（現砂川市立病院名誉院長）に随行したのがはじめてでした。

（先生は昭和39年生まれで私より1歳年上です）

その当時、先生は、松前町立松前病院の院長を務められており、北海道、全国から先生を慕って医学生、研修医、専攻医達が集まるスーパードクターでした。（数々の著書も執筆されています）

その一つの活動が、全国に向けてWebで毎週開催しております「プライマリ・ケアカンファレンス」と「プライマリ・ケアレクチャーシリーズ」です。

この勉強会は、何十年もの間、先生が中心となり無償で全国から講師を募り、医師、専攻医、研修医などへのスキルアップに多大な貢献となっています。

「にほぽ」の活動では、医学生対象のウインターキャンプで先生とともに幌加内町の朱鞠内湖へ真冬の「しばれる」（北海道弁で凍るほど寒い）湖で医学生とともにワカサギ釣りやそば打ちをしたことを思い出します。（特に医学生に絶大な人気があります）

## 砂川に「総合診療医」

ー木村眞司副院長との出会いー  
教育研修センター 副センター長 森田康晴

そんな先生が砂川市立病院へ赴任される、とても信じられないことでしたが、先生が行いたい、地域医療、医師をはじめとする医療職の教育などを全力でサポートいたしたいとの思いで活動しております。

昨年5月に当院から松前町立松前病院で1ヶ月地域医療研修を行っている研修医の研修状況を確認に松前町を訪問した際には、先生は時間の許す限り、以前先生が主治医だった患者さんや退職した職員等を訪問しましたが、皆さん先生の訪問に驚き、感謝しておりました。

(すべての方に真摯に向き合う先生、かっこいいです)

もちろん、松前町立松前病院の職員の方々も先生の訪問にとってもよろこんでおりました。

患者さん、病院職員、皆さんから感謝され、信頼され、必要とされる先生とこの地域の医療を守り、医療職を育成するためには、「総合診療医」が必要です。

現在の総合診療科は、先生のほかに北海道立羽幌病院から1年間派遣いただきました山崎孝明先生の2名体制です。

ぜひとも、木村眞司副院長とともに勤務いただけます「総合診療医」の先生をお願いいたします。

先生と一緒に、事務職員（私を含めて4名体制です）も精一杯のサポートをいたします。

「総合診療医」の先生のご応募をお待ちいたします。

Thank you for your attention and participation !

[shkimura@sapmed.ac.jp](mailto:shkimura@sapmed.ac.jp)